

第3号議案 令和5年度事業活動計画（案）に関する件

令和5年度事業活動計画（案）

1 基本方針

- ◎法人の経営基盤安定と職員体制づくりに注力する。
- ◎新型コロナウイルス感染症が第5類になることから、感染対策をとりつつ法人イベントの再開をすすめる。
- ◎会員数、寄付者数を増やすため、丁寧な広報活動と具体的な働きかけを実行する。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】 参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】 参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】 参照

3 活動

- (1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

◎みんなで学ぼうシリーズ

当地域に必要とされる学びの場について再検討し、適した形態へ移行してゆく。

◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月1回（5月～11月）、全7回の予定

◎地域の支援者向けのWRAP「くらっぷ」

コロナウイルス5類移行後の経過をみて、開催を検討してゆく

開催時は、偶数月第4水曜日を継続する

<広報活動>

◎通信ともへの発行

障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、月1回の発行を継続する。

◎インターネット媒体の充実

ホームページ、ブログの随時更新につとめる。

- (2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

◎羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席

- ・ 相談支援事業担当者会議
- ・ 就労支援部会
- ・ 知ってる会？

- ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
- ・ 障がい者地域包括ケアシステム検討会
- ◎羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月
- ◎後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
- ◎後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
- ◎倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
- ◎一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
- ◎一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

（３）講師派遣活動

- ◎法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

（４）組織の運営安定化、拡充活動

- ◎正会員 20 人、賛助会員は団体、個人合わせて 60 人を目指す。
- ◎寄付金の目標人数はのべ 20 人以上、目標額は 50 万円以上とする。

（５）助成金・補助金活用の活動

- ◎法人運営に有効な助成金・補助金情報収集に努める。
- ◎利用者の作業活動等向上および業務改善を目的とした助成金活用を検討、申請する

（６）認定NPO法人活動

- ◎なぜ寄付が必要なのか、将来設計と寄付金の使いみちを明確にする。
- ◎認定 NPO 法人であることを広め、活動の賛同者を募る。
- ◎寄付金の納税還付の利点を広める。

（７）「わっくわく」地域活動

- ◎「わっくわくまつり」を 3 年ぶりに開催し、地域のイベントとして定着させる。
- ◎「ともにカップ」を 3 年ぶりに開催し、ソーシャルフットボールの定着に努める。

（８）借入金返済の取り組み

- ◎事業の黒字化を目指し計画どおりの返済を実施する。

（９）職員の働く意欲向上を目指す。

- ◎キャリアパス制度の研修制度の充実と評価制度を再構築する。
- ◎福利厚生を充実し、働く環境の整備を行う。
- ◎職員のストレスチェックを導入し、年 1 回は全職員対象の理事長面談を実施する。

（10）防災対策を定期的実施する。

- ◎各種感染症の防止対策を定期的に見直し点検する。

- ◎火災訓練を年 1 回以上実施する。また事業所単位で防災教育を実施する。
- ◎地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所単位で実施する。

(11) 虐待防止対策をすすめる

- ◎虐待防止委員会によるチェック機能をすすめる
- ◎虐待防止の法人内研修を年 1 回行う
- ◎職員同士が行動や言動をチェックし、風通しのよい環境を整える。